

地域おこし
協力隊だより

第18回

うがいしげひさ
鶴飼 成久



地域おこし協力隊の鶴飼です。

下妻市に移住してから二度目の冬を迎え、協力隊としての任期も一年を切りました。

去年は、動画撮影・編集に挑戦する一年となりました。これまで独学で学んでいた動画撮影についても、プロのカメラマンの研修を受講しながら、学習や撮影を進めてきました。年末には動画が完成し、自らが立ち上げた下妻の魅力情報発信サイト「しもつまっぷ」にてPR動画を公開していますので、下記のQRコードからご覧いただけると幸いです。

また、ふるさと納税の寄附額アップのためのチラシなど、印刷物の制作にも力を注いできました。ふるさと納税を通じて、下妻市の名前が全国に知れ渡るための手助けができれば幸いです。

2023年は、この二年間で自分が見つけた下妻市の魅力を、下妻市で学んだ技術で発信する年になりたいと思います。移住してから勉強してきた、写真や動画の撮影・編集技術を余すことなく発揮し、事業者の商品撮影や「しもつまっぷ」の記事作成、新たなPR動画制作などを進めていきます。これまでの活動の集大成にしたいと思いますので、今年もよろしくお願いいたします。

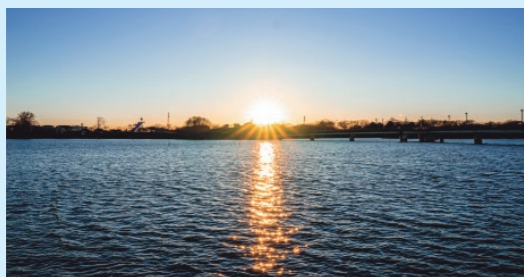
しもつまっぷ

URL <https://www.shimotsumap.com/>



◀しもつまっぷ

メールアドレス ugai.shimotsuma@gmail.com



砂沼に沈む夕日

問企画課 ☎43-2113 FAX 43-1960

下妻の地酒「紫煌」4周年記念
～新商品「米焼酎Shiou」誕生～

12月17日

下妻の地酒「紫煌(しおう)」誕生4周年記念として、新商品「米焼酎 Shiou」(右写真)を、12月17日(土)から販売開始しました。14日には市役所本庁舎で販売開始の発表が行われました。Shiouは、日本酒紫煌と同じく原料米は高道祖地区で生産された「ひたち錦」、酵母は市内ポピー畑で採取された天然酵母を使うなど、下妻産100%にこだわり、来福酒造(筑西市)が醸造を担いました。原料米生産者の小林稔さんは「年末年始はShiouを楽しんでもらいたいです」と話していました。



米焼酎Shiouは、720ml入り1,400円(税抜)で、市内酒店、道の駅しもつま、下妻マルシェ、イオン下妻店等でお買い求めできます。



Shiou販売開始を発表する関係者(左から藤村来福酒造(株)代表取締役、菊池市長、小林さん、中川JA常総ひかり下妻米穀課長)

シルバー人材センター会員による
奉仕作業

12月28日

シルバー人材センターでは、毎年年末に会員によるボランティア活動を行っています。この日は会員約40人が参加し、総合体育館、中央公民館、多賀谷城跡公園などで清掃活動を行い、街の美化に取り組みました。会員の大内勇さんは「仕事にはやりがいを感じています。今日は、日頃会えない会員の皆さんと一緒に作業ができて良かったです」と話していました。



多賀谷城跡公園駐車場を清掃する会員

表敬訪問



左から菊池市長、山口さん、本橋さん、廣瀬市議会議員

第22回全国障害者スポーツ大会
「いちご一会とちぎ大会」

もとほしおさむ
本橋治選手:卓球・第1位
やまくちゆりこ
山口由里子選手:水泳25mバタフライ・第2位
同 25m自由形・第4位

10月29日~31日に開催された同大会において、市内在住の2選手が優秀な成績を収めました。成績報告のために市役所を訪れた本橋選手は「皆さんの応援が力になりました。全国のプレイヤーと交流できたことは貴重な財産です」と話しました。また、山口選手は「ほっとしています。市民の皆さんの応援があったからこそこの結果だと思っています」と話しました。

全国優良畜産経営管理技術発表会 農林水産大臣賞受賞
倉持ピッグファウム代表取締役 倉持勝さん

全国優良畜産経営管理技術発表会(主催・公益社団法人中央畜産会)は、優秀な実績を収めている経営や、経営の課題解決のための取り組みを行っている事例を紹介し、畜産経営の改善に資することを目的に開催するものです。倉持さんは「おいしい笑顔が見たいから~伝説の下妻金豚~」について発表し、農林水産大臣賞を受賞しました。倉持さんは「これまでの活動が評価されたと思っています。関係者、従業員、家族には感謝しています」と話していました。

受賞の報告に市役所を訪れた倉持さん(左)、菊池市長(右)



温かい善意ありがとうございます

一般社団法人下館法人会下妻地区会が
ハンドソープを寄贈

12月6日、ハンドソープ600セットの寄贈を受けました。同会の須藤豊次会長は「地域のために何かできることはないかと会員みんなで考え、地域・社会貢献活動の一環として、献血推進活動に役立ててもらうためにハンドソープを寄附します」と話しました。



左から坂入副会長、須藤会長、菊池市長、塙副会長

支援体制の確立 問 消防交通課 ☎43-2119 FAX 43-4214

SMC株式会社と
「災害時の協力体制に関する協定」を締結

SMC(株)と市は、災害時の備蓄品の提供や被災者の救助活動に関して定めた「災害時の協力体制に関する協定」を12月16日に締結しました。また、同社は昨年引き続きソーラーパネル式蓄電池5セットを市に寄贈しました。寄贈品については、市内の各避難所に順次設置し、非常時の際の電源として活用する予定です。同社下妻工場長の山崎敏寛さんは「市民の一員として災害時の一助となればと考え、今回の協定を締結させていただきました」と話しました。



左から山崎工場長、菊池市長。手前はソーラーパネル式蓄電池